

製品名: IP3 受容体 (13U15) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe12697**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,IP 1:20-1:50,IF-P 1:200-1:1000
分子量	314kDa

抗原情報

遺伝子名	ITPR1
別名	5-trisphosphate receptor; Inositol 1; InsP3R1; IP3; IP3 receptor; IP3R 1; IP3R; IP3R1; Itpr1; SCA15; SCA16; SCA29;
遺伝子 ID	3708.0
SwissProt ID	Q14643
免疫原	ヒト IP3 受容体の合成ペプチド

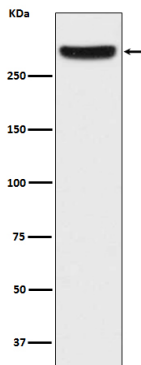
背景

イノシトール 1,4,5-トリスリン酸による刺激を受けて小胞体からカルシウムを放出する細胞内チャンネル。イノシトール 1,4,5-トリスリン酸による刺激を受けて小胞体からカルシウムを放出する細胞内チャンネル (PubMed:27108797)。AHCYL1 との相互作用を介して上皮細胞からの電解質および体液分泌の調節に関与する (類似性による)。ER ストレス誘導性アポトーシスにおいて役割を果たす。ER から放出された細胞質カルシウムは、CaM キナーゼ II の活性化を介してアポトーシスを誘発し、最終的には下流のアポトーシス経路の活性化につながる (類似性による)。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の IP3 受容体発現のウェスタン プロット分析。